

ふれいす東京 NEWS

Positive Living And Community Empowerment TOKYO



ふれいす東京NEWS 2024年新年号

30周年、節目の念頭に

ふれいす東京は、1994年、高田馬場栄通りの先、神田川を渡ったところにある雑居マンションの1室で活動をスタートさせました。6畳ほどの和室に小テーブルをおき、畳の上に座して、相談員は不安相談に耳を傾けていました。

ゲイ・グループは、持ち寄った品々をフリーマーケットで売り、その収益で電話回線の権利を購入するところから相談活動をスタートさせました。

こうした手作り感あふれる活動は、池上千寿子さんのリーダーシップのもと、HIVに関連した様々な現場レベルとの接点を保ちつつ、活動を広げてきました。現在では、東京都や厚労省などの事業も受託するまでに発展してきました。

この2024年4月でふれいす東京の活動は31年目に入ります。この30年を振り返りつつ、同時に次世代の人たちと未来について語っていく機会を作れたらと願っています。

当初から活動に関わり続けたスタッフもまだまだ現役で参加していますが、いよいよ世代交代に本腰を入れるタイミングです。この度、事務局で事務業務や電話対応など、事務機能の要となる人を公募することになりました。もし近くに適任者がいたら、ぜひ、ご紹介ください。

UNAIDSでは、2030年までに、3つのゼロを達成することを目指しています。

1. 差別をゼロにする
2. 新たなHIV感染をゼロにする
3. AIDS関連死をゼロにする

ぶれいす東京はこの3つの課題を達成するために、みなさまと力を合わせていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2024年元旦



認定NPO法人 ぶれいす東京
代表 生島 嗣
スタッフ一同

[【陽性者と家族の日記】](#)

性別、年代、セクシュアリティ、住んでいる地域など、さまざまなHIV陽性者が日記をつづっています。HIV陽性者の何でもない日常や、ちょっとした生活のかけらに触れてみてください。

[【スタッフ日記】](#)

ぶれいす東京には、いろいろな人がかかわっていて、さまざまな活動がおこなわれています。ニュースレターや活動報告書ではお伝えできないひとりひとりの思いや、日々の風景があります。

VOICE

HIVやセクシュアル・ヘルスにまつわる、さまざまな「VOICE/声」を掲載しています。

寄付・応援

ぶれいす東京の活動は、HIV陽性者たちのサポートに欠かせないものです。皆様の協力が必要です。クレジット決済もできます。ぶれいす東京への寄付は所得税の寄付金控除の対象です。

相談窓口

感染不安の電話相談、HIV陽性者・パートナー・家族など周囲の方、および判定保留・確認検査待ちの方のための電話相談、ゲイによるゲイのための電話相談があります。

Living with HIV

身近な人からHIV陽性と伝えられたあなたへ

Living with HIVは、HIV陽性者のパートナー・家族・友だち・職場の仲間などの、24編の手記と、基礎知識データを取りまとめた短いコラムなどからなります。



登録解除・アドレス変更はこちら [登録・解除フォーム](#)

認定NPO法人ふれいす東京

〒169-0075 [東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403](#)

[03-3361-8964](#)（月～土12-19時 ※祝祭日を除く）

Webサイト <https://www.ptokyo.org>

メールでのお問い合わせ office@ptokyo.org